

【問合せ先】桂川町社会教育課文化財振興係  
☎65・2900

題字：桂川中学校美術部  
宮武 海幸 さん

### ■一年間を振り返って

桂川中学校 校長 石田英喜

本年度も残すところあとわずかになりました。この一年間は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、感染予防に最善の注意を図りながら教育活動を続けていかねばならない一年でした。

そのような中、二百九十二名の生徒一人一人がそれぞれに考え、悩み、喜び、そして確実にひと回り大きくなったと思います。これもひとえに保護者や地域の皆様方の温かいご支援のおかげだと感謝もうしあげます。

この一年、本校の学校教育目標である『自ら学び、夢の実現に努力を重ね、たくましく前進する生徒の育成』を目指し、学力や体力の向上を重点課題に掲げ、全教職員が力を合わせて授業改善に取り組み、実践してまいりました。また、桂川町の教育に対する手厚いご支援を受け、少しずつではありますが、学力、体力ともに向上しております。今後は、さらなる学力と体力の向上を目指し頑張りたいと思っています。ご家庭や地域からのさらなるご支援をよろしく願っています。

### ■小学校生活へのアプローチ

桂川幼稚園 園長 城石俊弘

今年度は、臨時休業が長くなり、開園後も日々の感染症対策や園行事の工夫に追われました。本園では、子どもの成長のために教育活動を停滞させないこと、園行事は延期や内容変更をしても可能な限り実施することを基本に教育活動を進めました。

園行事は、春の遠足は延期して実施し、秋の遠足は予定通り実施しました。運動会と生活発表会、音楽発表会はできませんでしたが、プログラムの工夫や参観者の制限を設けて保育参観として実施しました。また、ゆるやかな体験の杜での夏季保育や、いよいよ桂川での野菜販売も時期をずらして行うことができました。感染症対策の苦労もありましたが、特に2度の保育参観では、練習や当日の発表を通して子どもたちが大きく成長したことを実感することができました。

運営面では、令和3年度の実

施に向けて、長期休業中の預かり保育を試行し、夏季休業中は10日間で延べ44人、冬季休業中は4日間で9人の利用がありました。臨時休業が長引いたため、5月には希望登園日を設け、168人の登園がありました。

また、教育委員会や保護者会と協議を進め、11月から週2回（火・木）のデリバリー給食を開始し、9月からは子どもたちの活動の様子を写真で紹介する「元気づきだより」をホームページに掲載し、毎月更新しています。

本年度は、職員研修にも力を入れました。計画的な園内研修のほか、幼稚園教育課程研究協議会での実践報告、重点課題研究中間報告会における保育実践の公開、県内の新規採用教員を代表して保育実践を公開するなど、福岡県教育委員会が所管する研修会に積極的に取り組みました。今後も職員の資質向上のため研修の充実に努めます。

コロナ禍の1年、多くの対策や工夫・改善が求められる中、様々な取組を推進することがで

きたのは、保護者や地域の皆様からの支援はもとより、桂川町及び町教育委員会から、職員体制をはじめとする教育環境を整えていただいているおかげだと感謝し、町内唯一の幼児教育施設として、教育活動のさらなる充実を目指したいとの思いを強くしています。



▲11月からキッズダンスを取り入れました！